

専用道路から
歩行者専用
歩道の供用
開始できる
と早く

建設部長 工事が完了し、通行できる区間から順次供用開始予定。



田中克彦 議員

一般競争入札について

議員 旧口之津庁舎の解体工事において、解体工事の実績が6千万円以上という制限がかけられた理由は、

市長 南島原市制限付一般競争入札発注基準を内規で定めている。その中で、地域要件、格付等級及び年間平均完成工事高などの参加条件を決めている。議員 雲仙市の同等案件における条件は。

総務部長 雲仙市は地域要件のみが参加条件。

議員 市内の業者を幅広く育てる意味では、条件緩和をすべきでは。

副市長 一定程度の条件は必要と考えているが、建設業協会あたりと相談し、条件緩和について検討していかなければと思っています。

自転車歩行者専用道路について

議員 交差点から交差点間の整備が完了した箇所から、少しでも早く供用開始できないか。

建設部長 工事が完了し、通行できる道路となった区間から順次供用開始を進める予定である。加えて、供用開始については、早めの予告や広報を工夫していきたい。

議員 完成後の利用促進、観光客誘致の具体策はあるのか。

地域振興部長 サイクルコースを設定し、観光施設にサイクルラックやベンチの整備を進めていこうと考えている。また、サイクルイベント等を開催して誘客を図りたい。

スマートウェルネスシティ構想について

議員 近年、スマートウェルネスシティ構想に基づくまちづくりを進めている自治体が全国で増えてきているが、スマートウェルネスシティについて市長の理解度は。また、健康都市づくりの専門家が、故郷のために力を貸したいと言われているが、話を聞いてもらえないか。

市長 人々が、健康で生きがいをもって安全安心で豊かな生活を営むことを、まちづくりの中核に位置づけた都市モデルであると認識している。本市のために提案していただくことはありがたい。具体的な提案内容を聞かせていただければ、よう前向きに検討したい。



口ノ津港からの眺め

質問の様子を動画で見よう



そうめん産業の振興について



永池充宏 議員

そうめん産業の振興
対策を強力に進めて
ほしい

市長 産地競争力を高めて活用化を図っていききたい。

議員 そうめん産業の持続的発展のため強力な支援策が必要と思うが。

市長 そうめん振興班を新設し、ブランド力や所得の向上に力を注いでいる。

議員 具体的な施策は。

地域振興部長 PR動画を作成し、テレビCMを行い、知名度や売り上げの向上を図っている。また、認証制度を推進しブランド力の向上に取り組んでいる。

議員 南島原そうめん小麦開発事業の成果は。

地域振興部長 そうめん小麦研究会で試作を行っている。地場産小麦を使用し付加価値を高めていきたい。

小規模土地改良事業について

議員 本市の実情に合った、小規模の区画整理事業はないのか。

農林水産部長 農地中間管理機構関連の整備事業があり、本市も取り組んでいる。

議員 その進捗状況は。

農林水産部長 細かな要件が多く、取組が進んでいない。

農業後継者育成事業について

議員 本市の農業を担う後継者の確保は重要だと思いが、その対策は。

農林水産部長 親元就農者支援事業、経営継承発展等支援事業、未来農業フ

ロンティア事業等を実施して、その確保に努めている。

議員 Iターン等による新規就農状況は。
農林水産部長 令和2年度から毎年1組の実績がある。

観光の振興について

議員 原城跡の整備の状況はどうなっているのか。

教育次長 災害の復旧と駐車場・トイレを原城跡入口に整備している。

議員 今後の計画は。

教育次長 二の丸付近に、案内所、トイレ、バスが転回できる広場、身障者用駐車場等を整備したい。



島原手延そうめん認証マーク

質問の様子を動画で見よう

